

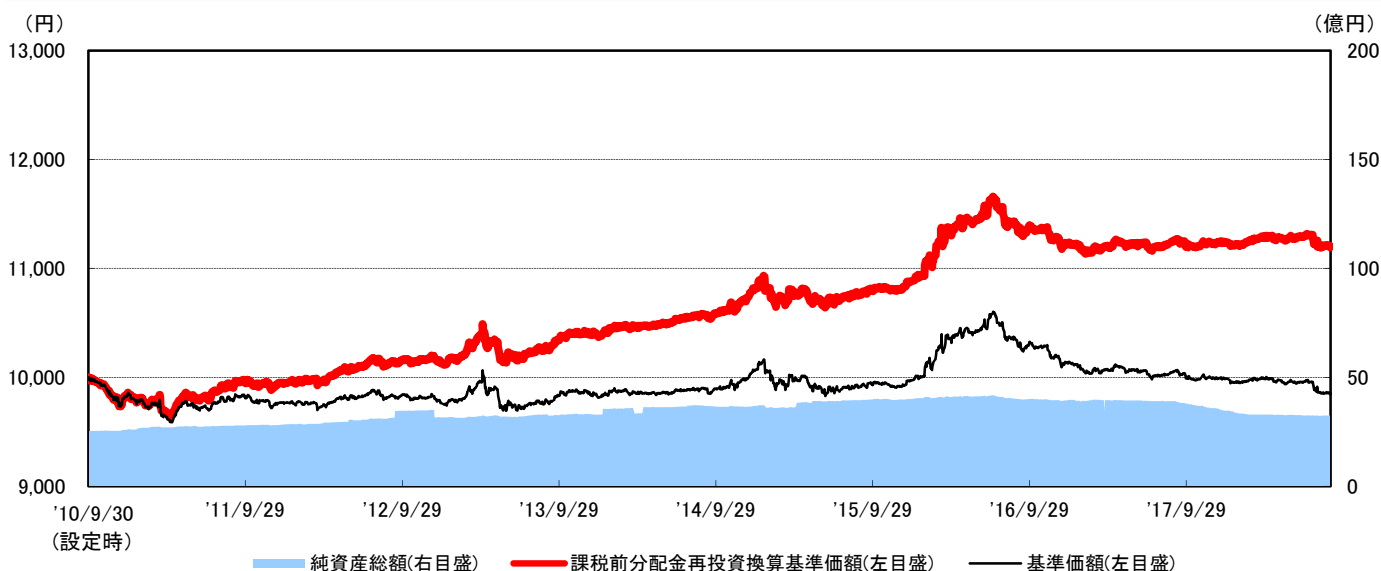


# にっぽん債券オープン(毎月決算型)

追加型投信/国内/債券

作成基準日：2018年8月31日

## 設定来の基準価額の推移



※基準価額(1万口当たり)は、信託報酬控除後のものです。  
 ※「課税前分配金再投資換算基準価額」は、この投資信託の公表している基準価額に、各収益分配金(課税前)をその分配を行う日に全額再投資したと仮定して算出したものであり、当社が公表している基準価額とは異なります。  
 ※上記の運用成果は過去の実績であり、将来の成果をお約束するものではありません。

## ファンドの運用状況(データは作成基準日現在)

		2018/7/31比		
基準価額	9,849 円	▲ 64 円	課税前分配金込み基準価額	11,123 円
			課税前分配金再投資換算基準価額	11,198 円
			基準価額(最高値:2016/7/6)	10,602 円
			基準価額(最安値:2011/4/11)	9,588 円
※基準価額は1万口当たりです。			純資産総額	32.4 億円

## ファンドの騰落率

期 間	1カ月	3カ月	6カ月	1年	3年	設定来
ファンド	-0.5%	-0.8%	-0.6%	-0.5%	4.1%	12.0%

※ファンドの騰落率は、各収益分配金(課税前)をその分配を行う日に全額再投資したと仮定して算出しています。  
 したがって、各期間の騰落率と実際の投資家利回りは異なります。  
 ※設定来のファンドの騰落率は当初設定価額(10,000円)を起点として算出しています。

## 課税前分配金の推移(1万口当たり)

'10/11-'10/12	'11/1-'14/3	'14/4-'18/8	—	—	設定来累計
—	15円	13円	—	—	1,274円

※上記分配金は過去の実績であり、将来の成果をお約束するものではありません。  
 ※収益分配金は一定の分配金額をお約束するものではなく、委託会社の判断により、分配を行わない場合もあります。



# にっぽん債券オープン(毎月決算型)

追加型投信/国内/債券

作成基準日：2018年8月31日

## ポートフォリオの状況

※当レポートの各数値は表示桁数未満で四捨五入して表示している場合がありますので、それを用いて計算すると誤差が生じる場合があります。

※現金等には未収・未払い項目が含まれるため、マイナスとなる場合があります。

※当レポートにおける「事業債」とは、一般に事業会社が発行する債券であり、「社債」とも呼ばれています。

※当レポートにおける格付けは、R&I、JCR、Moody's、S&P、Fitchの格付けのうち、上位の格付けをS&Pの表示方法で表記しています。

なお、当該格付けがない場合には委託会社が相当とみなした格付けに含めて表示します。

※「組入資産の状況」・「主要指標」・「債券種別組入比率」・「格付け別組入比率」・「組入上位10銘柄」の比率はマザーファンドの組入比率に基づき算出した実質ベースの数値です。

### 組入資産の状況

ファンド	
内訳	比率
債券	98.4%
現金等	1.6%

(債券先物 -)

### 主要指標

ファンド	
平均終利(*1)	0.3%
平均直利(*2)	1.1%
デュレーション(*3)	8.7
平均格付け(*4)	AA+

(\*1) 平均終利(複利最終利回り)・・・償還日までの受取利息とその再投資収益および償還差益損も考慮した利回り(年率)。

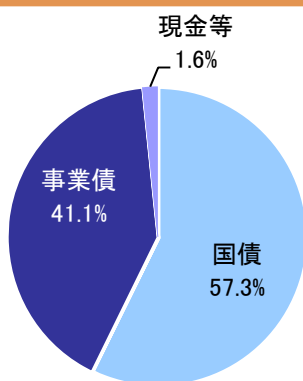
(\*2) 平均直利(直接利回り)・・・受取利息収入部分にのみ着目した利回り。債券価格に対する受取利息の割合(年率)。

(\*3) デュレーション・・・金利変動に対する債券価格の変動性を示すもので、債券に投資した場合の平均投資回収年限を表す指標です。値が大きいほど、投資元本の回収までに時間がかかり、その間の金利変動に対する債券価格の変動(感応度)が大きくなります。

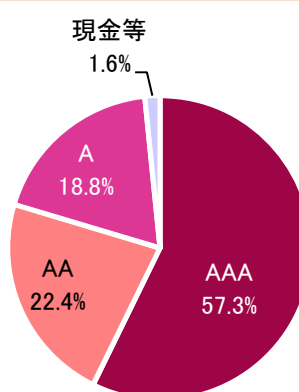
デュレーションを調整するために債券先物を利用する場合があります。この場合、デュレーションは債券先物も含めて計算しています。

(\*4) 平均格付けとは、基準日時点で投資信託財産が保有している有価証券に係る信用格付けを加重平均したものであり、当該投資信託受益証券に係る信用格付けではありません。

### 債券種別組入比率



### 格付け別組入比率



出所: Bloomberg

### 組入上位10銘柄

順位	銘柄名	種別	利率	償還日	格付け	比率
1	第135回利付国債(5年)	国債	0.1%	2023/3/20	AAA	5.3%
2	第164回利付国債(20年)	国債	0.5%	2038/3/20	AAA	4.9%
3	第342回利付国債(10年)	国債	0.1%	2026/3/20	AAA	4.3%
4	第149回利付国債(20年)	国債	1.5%	2034/6/20	AAA	4.0%
5	第64回東京急行電鉄無担保社債(社債間限定同順位特約付)	事業債	2.7%	2023/6/6	AA-	3.5%
6	第116回利付国債(20年)	国債	2.2%	2030/3/20	AAA	3.4%
7	九州電力株式会社第424回社債(一般担保付)	事業債	1.233%	2023/11/24	AA-	3.2%
8	住友不動産株式会社第89回無担保社債(社債間限定同順位特約付)	事業債	1.098%	2023/7/21	A+	3.2%
9	第340回利付国債(10年)	国債	0.4%	2025/9/20	AAA	3.2%
10	第7回三菱東京UFJ銀行無担保社債(劣後特約付)	事業債	2.11%	2019/12/20	AA-	3.2%

※上記の銘柄は、作成基準日時点のマザーファンドの組入上位1~10銘柄を紹介したものであり、個別銘柄の推奨を目的とするものではありません。

※銘柄名は略称で表記しています。

※後記の「本資料のご利用にあたっての注意事項等」をご覧ください。

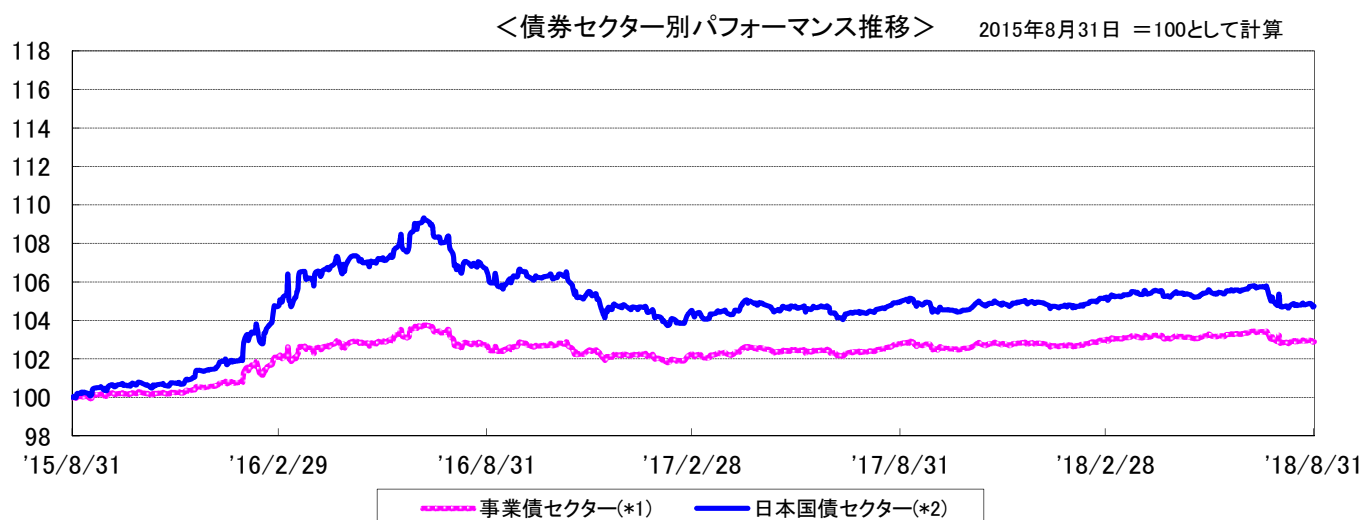


# にっぽん債券オープン(毎月決算型)

追加型投信/国内/債券

作成基準日: 2018年8月31日

## 過去3年間の市場の変化



(\*1) 事業債セクター: 「NOMURA-BPI/Extended 事業債」を使用しております。

(\*2) 日本国債セクター: 「NOMURA-BPI 国債」を使用しております。

「NOMURA-BPI/Extended 事業債」および「NOMURA-BPI 国債」は、野村証券株式会社が公表している指数で、その知的財産権は野村証券株式会社に帰属します。なお、野村証券株式会社は、対象インデックスの正確性、完全性、信頼性を保証するものではなく、対象インデックスを用いて行われる三菱UFJ国際投信株式会社の事業活動・サービスに関し一切の責任を負いません。

出所: Bloomberg

## ファンドマネージャーのコメント

### ◆当月の市場動向

#### 【国債市場】

8月の長期金利は上昇しました。黒田日銀総裁が長期金利の変動幅拡大を容認する発言をしたことから、長期金利は大幅に上昇して始まりました。その後、日銀が臨時的国債買入れオペを実施したことから、長期金利は低下に転じ、月末にかけてはもみ合いでの推移となりました。

#### 【事業債市場】

8月の事業債市場の対国債スプレッド(利回り格差)は概ね横ばいとなりました。国債利回りが低位となる中で比較的高い利回りを確保できる事業債の需要が高いことや、日銀による社債オペなどにより需給が引き締まっていることなどから、事業債市場は概ね堅調に推移しました。

### ◆運用方針

日銀は10年物国債金利をゼロ%程度で推移するよう、長期国債の買い入れを行うとしているものの、金利変動幅の拡大を容認する姿勢をみせていることから、長期金利は新たなレンジの下で居所を探る展開になるとみています。そのような中、国債投資については相場動向を見ながら機動的に投資を行う方針です。事業債投資については、為替や原油価格の動向などの企業業績への影響を注視しつつ、国債対比での利回りの高さなどに注目し、国債プラスアルファの収益を確保していく方針です。(運用担当者: 小口)

※上記は、作成時点における市場環境もしくは運用方針等について記載したものであり、将来の市場環境の変動等により当該運用方針が変更される場合があります。

## 収益分配金に関する留意事項

- 分配金は、預貯金の利息とは異なり、投資信託の純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。

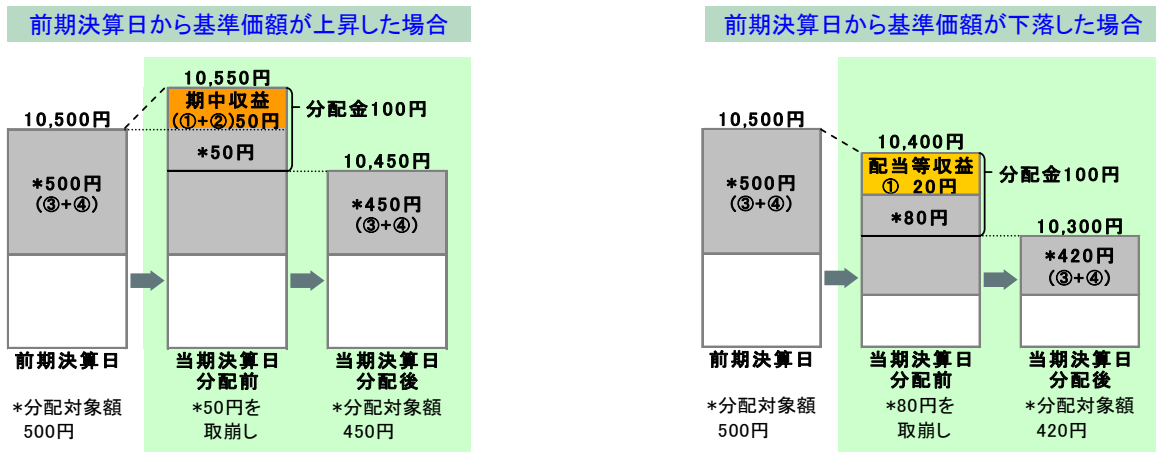
### 投資信託から分配金が支払われるイメージ



- 分配金は、計算期間中に発生した収益(経費控除後の配当等収益および評価益を含む売買益)を超えて支払われる場合があります。その場合、当期決算日の基準価額は前期決算日と比べて下落することになります。また、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。

分配対象額は、①経費控除後の配当等収益および②経費控除後の評価益を含む売買益ならびに③分配準備積立金および④収益調整金です。分配金は、分配方針に基づき、分配対象額から支払われます。

### 計算期間中に発生した収益を超えて支払われる場合



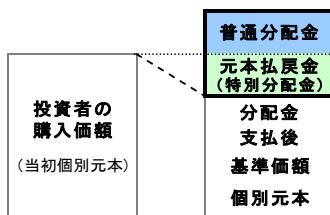
※上記はイメージであり、実際の分配金額や基準価額を示唆するものではありませんのでご注意ください。

分配準備積立金：当期の①経費控除後の配当等収益および②経費控除後の評価益を含む売買益のうち、当期分配金として支払わなかった残りの金額をいいます。信託財産に留保され、次期以降の分配金の支払いに充当できる分配対象額となります。

収益調整金：追加型投資信託で追加設定が行われることによって、既存の受益者への収益分配可能額が薄まらないようにするために設けられた勘定です。

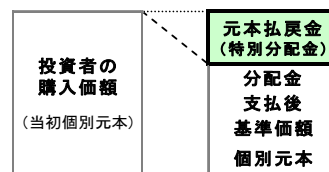
- 投資者のファンドの購入価額によっては、分配金の一部または全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がり率が小さかった場合も同様です。

### 分配金の一部が元本の一部払戻しに相当する場合



※元本払戻金(特別分配金)は実質的に元本の一部払戻しとみなされ、その金額だけ個別元本が減少します。また、元本払戻金(特別分配金)部分は非課税扱いとなります。

### 分配金の全部が元本の一部払戻しに相当する場合



普通分配金：個別元本(投資者のファンドの購入価額)を上回る部分からの分配金です。

元本払戻金(特別分配金)：個別元本を下回る部分からの分配金です。分配後の投資者の個別元本は、元本払戻金(特別分配金)の額だけ減少します。

(注)普通分配金に対する課税については、投資信託説明書(交付目論見書)をご参照ください。

## 購入時手数料に関する留意事項

お客さまにご負担いただく購入時手数料の具体例は以下の通りです。販売会社によっては金額指定、口数指定どちらかのみのお取扱いになる場合があります。くわしくは、販売会社にご確認ください。

### [金額を指定して購入する場合]

購入金額に購入時手数料を加えた額が指定金額となるよう購入口数を計算します。例えば、100万円の金額指定でご購入いただく場合、100万円の中から購入時手数料(税込)をご負担いただきますので、100万円全額が当該ファンドの購入金額となるものではありません。

### [口数を指定して購入する場合]

例えば、基準価額10,000円(1万口当たり)の時に100万口ご購入いただく場合、購入時手数料=(10,000円÷1万口)×100万口×手数料率(税込)となり、100万円と購入時手数料の合計額をお支払いいただくこととなります。

## にっぽん債券オープン(毎月決算型)

### ファンドの目的・特色

#### ■ファンドの目的

安定したインカムゲインの確保と信託財産の着実な成長を目指して運用を行います。

#### ■ファンドの特色

**特色1 わが国の公社債\***を主要投資対象とします。

- \*国債、地方債、社債等をいいます。
- ・公社債の組入比率は、原則として高位を保ちます。
- ・原則として、取得時にBBB格相当以上の格付けを有する債券に投資します。  
(格付けのない場合には、委託会社が同等の信用力を有すると判断したものを含みます。)
- ・円建の債券に投資を行いますので、為替変動リスクはありません。

**特色2 金利変動リスク、信用リスクをコントロールすることで、投資収益の獲得を目指します。**

- ・金利変動による債券価格の変動を捉え、投資収益の獲得を目指します。  
金利変動リスクをコントロールするために、債券先物取引等を活用する場合があります。
- ・国債以外の債券への投資を弾力的に行うことで、投資収益の獲得を目指します。

資金動向や市況動向等によっては、特色1、特色2のような運用ができない場合があります。

**特色3 毎月決算を行い、収益の分配を行います。**

- ・毎月10日(休業日の場合は翌営業日)に決算を行い、収益分配方針に基づいて分配を行います。

収益分配方針

- ・分配対象額の範囲は、経費控除後の配当等収益と売買益(評価益を含みます。)等の全額とします。
- ・委託会社が基準価額水準、市況動向等を勘案して、分配金額を決定します。  
(ただし、分配対象収益が少額の場合には分配を行わない場合もあります。)

将来の収益分配金の支払いおよびその金額について保証するものではなく、委託会社の判断により、分配を行わない場合もあります。

#### ■ファンドのしくみ

- ・ファミリーファンド方式により運用を行います。
- <当ファンドが主要投資対象とするマザーファンド>  
にっぽん債券オープン マザーファンド

### 投資リスク

#### ■基準価額の変動要因

ファンドの基準価額は、組み入れている有価証券等の価格変動による影響を受けますが、これらの運用により信託財産に生じた損益はすべて投資者のみなさまに帰属します。

したがって、投資者のみなさまの投資元本が保証されているものではなく、基準価額の下落により損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。

投資信託は預貯金と異なります。

ファンドの基準価額の変動要因として、主に以下のリスクがあります。

金利変動 リスク	債券は、一般的に金利変動により価格が変動します。当ファンドは債券に投資しますので、金利変動により当ファンドの基準価額も変動します。 また、組入債券の残存期間や利率等も価格変動に影響を与えます。例えば、金利水準の低下を見込んで残存期間が長い債券の組入比率を大きくしている場合等には、金利変動に対する債券価格の感応度が高くなり、当ファンドの基準価額の変動は大きくなります。
信用 リスク	投資している有価証券等の発行体の倒産、財務状況または信用状況の悪化等の影響により、当ファンドの基準価額は下落し、損失を被ることがあります。
流動性 リスク	有価証券等を売却あるいは購入しようとする際に、買い需要がなく売却不可能、あるいは売り供給がなく購入不可能等となるリスクのことをいいます。例えば、市況動向や有価証券等の流通量等の状況、あるいは当ファンドの解約金額の規模によっては、組入有価証券等を市場実勢より低い価格で売却しなければならないケースが考えられ、この場合には当ファンドの基準価額の下落要因となります。

上記のリスクは主なリスクであり、これらに限定されるものではありません。

#### ■その他の留意点

当ファンドのお取引に関しては、クーリングオフ(金融商品取引法第37条の6の規定)の適用はありません。

**ご購入の際には、必ず投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。**

## にっぽん債券オープン(毎月決算型)

### 手続・手数料等

#### ■お申込みメモ

購入単位	販売会社が定める単位／販売会社にご確認ください。
購入価額	購入申込受付日の基準価額 ※基準価額は1万口当たりで表示されます。基準価額は委託会社の照会先でご確認ください。
換金単位	販売会社が定める単位／販売会社にご確認ください。
換金価額	換金申込受付日の基準価額
換金代金	原則として、換金申込受付日から起算して5営業日目から販売会社においてお支払いします。
申込締切時間	原則として、午後3時までに販売会社が受付けたものを当日の申込分とします。
換金制限	当ファンドの資金管理を円滑に行うため、原則として1日1件10億円を超える換金はできません。
購入・換金申込受付の中止及び取消し	金融商品取引所等における取引の停止、その他やむを得ない事情があるときは、購入・換金のお申込みの受付を中止すること、およびすでに受付けた購入・換金のお申込みの受付を取消すことがあります。
信託期間	2020年9月10日まで(2010年9月30日設定) ※受益者に有利であると認めるときは、信託期間を延長することがあります。
繰上償還	当ファンドの受益権の総口数が、当初設定時の10分の1または25億口を下回ることとなった場合等には、信託期間を繰上げて償還となることがあります。
決算日	毎月10日(休業日の場合は翌営業日)
収益分配	毎月の決算時に分配を行います。 販売会社との契約によっては、収益分配金の再投資が可能です。
課税関係	課税上は、株式投資信託として取扱われます。個人受益者については、収益分配時の普通分配金ならびに換金時および償還時の譲渡益に対して課税されます。NISA(少額投資非課税制度)およびジュニアNISA(未成年者少額投資非課税制度)の適用対象です。税法が改正された場合等には、変更となることがあります。くわしくは投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

#### ■ファンドの費用

##### お客さまが直接的に負担する費用

購入時手数料 購入価額に対して、**上限1.08%(税抜 1.00%)**(販売会社が定めます)  
(購入される販売会社により異なります。くわしくは、販売会社にご確認ください。)

信託財産留保額 ありません。

##### お客さまが信託財産で間接的に負担する費用

運用管理費用(信託報酬) 日々の純資産総額に対して、**年率0.4644～0.7884%(税抜 年率0.4300～0.7300%)**をかけた額

その他の費用・手数料 監査法人に支払われる当ファンドの監査費用・有価証券等の売買時に取引した証券会社等に支払われる手数料・有価証券等を海外で保管する場合、海外の保管機関に支払われる費用・その他信託事務の処理にかかる諸費用等についても当ファンドが負担します。  
※上記の費用・手数料については、売買条件等により異なるため、あらかじめ金額または上限額等を記載することはできません。

※運用管理費用(信託報酬)および監査費用は、日々計上され、毎決算時または償還時に当ファンドから支払われます。

※上記の費用(手数料等)については、保有金額または保有期間等により異なるため、あらかじめ合計額等を記載することはできません。なお、当ファンドが負担する費用(手数料等)の支払い実績は、交付運用報告書に開示されていますのでご参照ください。

### 本資料のご利用にあたっての注意事項等

●本資料は、三菱UFJ国際投信が作成した資料です。投資信託をご購入の場合は、販売会社よりお渡しする最新の投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。●本資料の内容は作成時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。●本資料は信頼できると判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。●本資料中のグラフ・数値等は、過去の実績・状況であり、将来の市場環境等や運用成果等を示唆・保証するものではありません。また税金・手数料等を考慮しておりませんので、実質的な投資成果を示すものではありません。●投資信託は、預金等や保険契約とは異なり、預金保険機構、保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。銀行等の登録金融機関でご購入いただいた投資信託は、投資者保護基金の補償の対象ではありません。●投資信託は、販売会社がお申込みの取扱いを行い委託会社が運用を行います。

#### ●委託会社(ファンドの運用の指図等)

三菱UFJ国際投信株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第404号

加入協会: 一般社団法人 投資信託協会

一般社団法人 日本投資顧問業協会

<ホームページアドレス> <https://www.am.mufg.jp/>

<お客さま専用フリーダイヤル> 0120-151034

(受付時間 営業日の9:00~17:00)

#### ●受託会社(ファンドの財産の保管・管理等)

株式会社りそな銀行

**ご購入の際には、必ず投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。**

## 販売会社情報一覧表

ファンド名称: にっぽん債券オープン(毎月決算型)

商号 (*は取次販売会社)	登録番号等	日本証券業 協会	一般社団法人 日本 投資顧問業 協会	一般社団法人 金融先物 取引業協会	一般社団法人 第二種 金融商品 取引業協会
SMBC日興証券株式会社(SMA専用)	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第2251号	○	○	○	○
高木証券株式会社	金融商品取引業者 近畿財務局長(金商)第20号	○			
三菱UFJモルガン・スタンレー証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第2336号	○	○	○	○
めぶき証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第1771号	○			
株式会社近畿大阪銀行	登録金融機関 近畿財務局長(登金)第7号	○			
株式会社島根銀行	登録金融機関 中国財務局長(登金)第8号	○			
株式会社第三銀行	登録金融機関 東海財務局長(登金)第16号	○			
株式会社鳥取銀行	登録金融機関 中国財務局長(登金)第3号	○			
株式会社長野銀行	登録金融機関 関東財務局長(登金)第63号	○			
株式会社南日本銀行	登録金融機関 九州財務局長(登金)第8号	○			
株式会社宮崎太陽銀行	登録金融機関 九州財務局長(登金)第10号	○			
株式会社りそな銀行	登録金融機関 近畿財務局長(登金)第3号	○		○	
岐阜信用金庫(新規申込のお取扱いを中止しております)	登録金融機関 東海財務局長(登金)第35号	○			